

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【馬宮東小学校】

## 学力向上 アクションマップ

①拡大	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では、2年連続で「言葉の特徴や使い方に關する事項」が課題である。R7年度さいたま市学習状況調査「国語」の授業の内容はよくわかり「ますか」の質問の肯定的な回答の割合がどの学年も市平均より低かった。「書くこと」の領域にも課題がみられた。「自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうか」の正答率が低い。「読むこと」の正答率が高い。</li> <li>・算数では、「数と計算」領域の他に、「かさの単位」「時刻の求め方」などに課題がみられる。「10%増量の意味を解釈し何倍になっているかを表すことができるかどうか」の正答率が低く、無回答率も高かった。また測定分野の正答率が低い。</li> <li>・R7年度さいたま市学習状況調査「主体的対話的で深い学び」の質問分類の肯定的回答がほとんどの項目・学年で市平均より上回っている。しかしその児童の意識が学力向上の結果となって表れているとは言えない。</li> </ul>
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導と評価の一体化により実態を踏まえた授業を行う。【毎時間】</li> <li>・家庭と連携して、学習習慣と生活習慣の形成・見直しを目的とするマママンカードの取組を実施する。【年に3回】学年で内容の共有をし、学校全体で、本校の課題を見直し、改善していく。</li> <li>・「学びのポイント(し・しゃく)」の視点に基づく主体的な学びの授業改善に取り組み、授業研究会を実施する。【年3回】加えて教員一人ひとりが確実に授業改善に取り組み、公開授業を年に2回行う。それぞれの実践で得られた成果と課題を共有する場を設け、研修で学んだことが全職員の間日からの授業改善につながるようにしていく。【年3回】</li> <li>・ICT研修を実施し、誰でも実践できるような効果的で深い学びにつながる内容を共有する。【年4回】</li> </ul>

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	

- ①学校全体での取組
- ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③中間評価を経た取組
- ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
学力向上策の 見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)